

平成 15 年度 第 12 回常任理事会 速報録

日 時 平成 16 年 3 月 27 日 (土) 午前 11 時 ~ 12 時
場 所 ダイヤモンドホテル西館 2F 「205 号」
出席者 定数 24 名 (出席 23 名、委任状 1 通) 顧問・参与等 13 名

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

正会員の入会が 6 件と退会 25 件、国立病院・療養所の再編成による会員異動が 3 件、賛助会員の入会 1 件と退会 11 件について諮られ、承認された。計、正会員数は 2,710 病院 (公的 958、私的 1,752、総病床数 71 万 6500 床)、賛助会員数は 513 会員となった。

2. 厚生労働省及び各団体からの依頼について

- (1) 医療とニューメディアを考える会・世話人の推薦 (依頼元: 同会)
- (2) 自治体総合フェア 2004 の協賛 (日本経営協会)
- (3) 日本適合性認定協会・臨床検査室認定プログラム開発委員会・広報専門委員会委員の推薦 (同専門委員会)
- (4) 「健康と医療フォーラム」の協力 (日本経済新聞社)

上記のうち(1)は大井委員長を推薦し、(3)は四病協への依頼事項で奈良副会長を推薦することとし、他の協賛・協力依頼を承認した。

3. 一泊人間ドック実施病院の指定について

一泊人間ドック指定申請 2 件について、調査報告書にもとづき承認した。

〔報告事項〕

1. 各委員会、研究研修会の開催報告について

- (1) 予防医学委員会・人間ドック・健診施設機能評価準備委員会 (3/5)
...人間ドックの機能評価は今夏スタートする予定で、関連のロゴマーク、認定証、認定プレートなども準備した。来年度の施設指定契約先は、健保連のほか全社連等 4 つの全国組織と締結する予定。
- (2) 救急医療防災対策委員会 (3/12) ...10/22 岡山で救急医療防災対策セ

ミナーを行うが、地元では四病協の合同開催を希望しており、その線で進めることとした。17年度は長崎開催を予定。

- (3) インターネット委員会(3/14~16)...第54回日本病院学会のインターネットシンポジウムの打ち合わせをかね、岡山済生会総合病院を訪問視察した。日病の新しい役員、委員長を動画配信で紹介したりサイトのリニューアルも準備中である。
- (4) いわゆる混合診療に関する検討小委員会(3/16)...前回の理事会で討議された「報告書批判」の続きを論議し、混合診療の問題は今後も検討する必要があると親委員会へ提案することを決めた。
- (5) 医療制度・社会保険老人保健合同委員会(3/16)...今回の診療報酬改定について医事研委員長から概要説明があり、外保連の手術委員会に日病の医療材料に関する実態調査の中間報告が行われた。
- (6) 通信教育委員会・診療情報管理課程小委員会(3/16)...平成15年度冬期試験の合否判定を行い、卒業試験の合格率は78%で認定者は740名、診療録管理士を合わせた累計認定は8,341名となった。認定専門学校・大学からの申請3件について対応を決めた。
- (7) 統計情報委員会(3/19)...診療報酬改定の影響度調査を近々実施。第54回日本病院学会フォーラムは「平成16年診療報酬改定の影響度評価と病院意思決定分析」「急性期、慢性期各機能の選択と成功する病院の意思決定」などをテーマに実施する。
- (8) 広報委員会(3/19)...日病ニュースの次期シリーズ特集「表面化する医師の需給問題 地域医療は守れるのか」の論点や執筆予定者について検討し、具体案は次期委員会に委ねることとした。
- (9) 学術委員会(3/19)...日病雑誌4月号を本日配布。“雑誌の刷新”で表紙の変更や新しいレイアウトの提案があったが、6月号から徐々に変えていくこととした。院長交替の欄もスタートさせる。
- (10) 研究研修会... 病院医療の質を考えるセミナー(2/27~28 東京、144名。国立国際医療センターの概要と電子化の取組み、他) 事務長セミナー(3/10~11 東京、109名。DPCを活用した病院マネジメント、他) 診療報酬改定説明会(3/10 東京、2788名、3/11 神戸、2177名。改正点の解説、質疑応答) 人間ドック認定指定医研修会(3/13

東京、390名。高齢者の人間ドック、乳癌の早期発見と治療、他)

2. 四病協諸会議の開催報告について

- (1)医療保険・診療報酬委員会(3/5) ... 今回の診療報酬改定に対する四病協要望事項(重点1、要望10)の実現度は○2、6、×3という結果であった。ハイケアユニットと亜急性期入院医療についてはまだ不明瞭な点があり、厚労省に確かめて会員に伝えることとした。
- (2)医業経営・税制委員会(3/17) ... 特別医療法人制度が一部規制緩和され、医療法人の付帯業務拡大で厚労省の意見募集を受けた。放射線治療装置の線源交換で日本アイソトープ協会が関与する点を問題視した。
- (3)病院建物耐用年数実態調査委員会(3/18) ... 日医と四病協の合同調査として回収3,000病院を目標に、4/15調査表を発送、回収し、6月末までに報告書をまとめる計画とした。例年の税制改正における病院建物の耐用年数39年を短縮、要望するための資料とする目的。
- (4)総合部会(3/24) ... 病院建物耐用年数実態調査の計画について了承。医療機関債発行のガイドラインについて厚労省から四病協に意見打診があり、4月に入ってから検討することとした。3月の中医協総会について報告があり、DPC試行適用の進捗状況について論議した。

3. 医療情報システム開発センター理事会の出席報告について

平成16年度の事業計画、予算案について協議したが、国の受託事業等が減って状況は厳しく、基本方針を見直すもようなどと報告。

4. 日本救急医療財団理事会(3/11)の出席報告について

平成16年度事業計画、予算案等について協議し、救急救命士の国家試験合格者は第24回(年2回)で延べ25,000人、合格率は76%。守備範囲についてなお議論中だが着実に増えているなどと報告。

〔協議事項〕

1. 医療費、医療制度、医療保険制度について

今回の診療報酬改定の結果は診療報酬体系見直しの第一歩となり、いつDPCになっても対応できるような体制をとる必要があるとも言われているが、厚労省はいずれ全部適用していこうという考えがあるようで我々も気を

つけていきたい。手術の施設基準は改めて届出するというので、撤廃には至っていないので注意が必要。セカンドオピニオンは今回見送りとなり、給食差益の調査を行うもよう、などと論議した。

研修医に対する安全管理体制で国立大学医学部附属病院長会議が提言しているが、研修医の医療行為について、単独で何が行えて何が行えないか、もう少し明確にしていく必要を感じる。医師の名義貸し問題は大学側の情報提供をもとに今後病院、診療所に立ち入り調査するとされるが、本当に日本の医師は足りないのかどうかと論議し、医師の労働条件という問題も今後検討する必要があるなどと提起された。

最後に中山会長から、本日はこの後、役員改選の会議日程がつかえているのでこれで終了したいと挨拶がなされ、常任理事会を終えた。

会議終了後、同じホテル内の会場で次の代議員会・総会、理事会等が行われ、平成 16 年度事業計画・予算案を承認したほか、任期満了に伴う役員改選を行って新しい執行部を選出した。

1．平成 15 年度代議員会・総会（午後 1 時～ 2 時 10 分、出席者：代議員会 49 名・委任状 44 通、総会 116 名・委任状 1580 通）

平成 15 年度補正予算案及び平成 16 年度事業計画・予算案について審議し、いずれも原案どおり承認された。

2．新代議員による代議員会（午後 2 時 25 分～ 3 時 45 分、出席 69 名）

任期満了に伴う役員改選を行い、代議員会議長、同副議長及び監事は定数内の立候補により無投票で選出され、理事は定数を上回る立候補があったため選挙を行った。理事の数は公的、私的半数ずつとし、公的の立候補 33 名は無投票で選出、私的の立候補 37 名について選挙して 33 名を選出、計 66 名を確定した。（○印=新）

代議員会議長：加藤正弘（東京・江戸川病院）

同副議長：○中藤晴義（長野・諏訪赤十字病院）

理事：公的 33 名、私的 33 名、計 66 名（略）

監事：星和夫（東京・青梅市立総合病院）、○柏戸正英（千葉・柏戸病院）

3. 新理事による理事会（午後4時10分～4時55分、出席56名）

新理事の互選により会長、副会長、常任理事を選ぶこととし、中山会長が勇退した後の次期会長に山本副会長が推挙された。次いで、副会長は6名（現員4名を増員、私的3、公的3）、常任理事19名（私的10、公的9）が選出された（○印＝新）。いずれも任期は4月1日から3年間。

会 長： ○山本修三（神奈川・済生会神奈川県病院）

副会長：〔私的〕武田隆男（京都・武田病院）、○池澤康郎（東京・中野総合病院）、○川合弘毅（大阪・若草第一病院）
〔公的〕奈良昌治（栃木・足利赤十字病院）、○大井利夫（栃木・上都賀総合病院）、○村上信乃（千葉・国保旭中央病院）

常任理事：〔私的〕○石井暎禧（埼玉・狭山病院）、○梶原優（千葉・板倉病院）、土屋章（神奈川・淵野辺総合病院）、○渡部透（新潟・新潟南病院）、福田浩三（愛知・上飯田第二病院）、○小川嘉誉（大阪・総合病院多根病院）、○佐藤真杉（大阪・佐藤病院）、元原利武（兵庫・明舞中央病院）、○土井章弘（岡山・岡山旭東病院）、福井順（長崎・長崎記念病院）
〔公的〕○舘田邦彦（北海道・市立旭川病院）、林雅人（秋田・平鹿総合病院）、川城丈夫（埼玉・国立療養所東埼玉病院）、近藤達也（東京・国立国際医療センター）、齊藤寿一（東京・社会保険中央総合病院）、秋山洋（東京・虎の門病院）、天川孝則（神奈川・横浜赤十字病院）、○邊見公雄（兵庫・赤穂市民病院）、角田幸信（広島・済生会広島病院）